

親密なパートナーからの暴力

リソース・情報・安全対策



手を延ばして

読者のみなさまへ

この冊子の名前(手を延ばして)には2つの意味があります。

- 第一に、私たちはあなたに手を延ばしたいのです。親密なパートナーからの暴力(ドメスティックバイオレンスとも呼ばれる)はあらゆる意味であなたの生活に影響を与えています。あなたが被害者、サバイバー、友人、家族、同僚、または危害を加える側の人物であっても、私達は手を差し延べたいと思っています。
- 第二に、私たちはあなたからも助けや支援を得るためにぜひ手を延ばして欲しいのです。親密なパートナーからの暴力で、あなたは孤独、恐れ、ストレス、困惑、怒りを感じ、希望を失ったように感じることもあるでしょう。内緒でアドバイスを受けた時、深夜の時に支援を受けたい時、無料の緊急シェルターや無料あるいは低料金の法的支援を求めている時、虐待を受けている人のために犯罪を通報したり、ホットラインを探したりという場合にも、偏見を持つことなく公平に助け、支援を提供してくれる機関があります。この冊子ではそのようなサービスへの連絡の取り方をお知らせします。

この情報を今すぐ、明日、一年後に使う場合、あるいはそのまま誰かに渡す場合でも、支援が受けられることを知ってもらいたいと思っています。

Eve Sheedy

エグゼクティブディレクター

LOS ANGELES COUNTY DOMESTIC VIOLENCE COUNCIL



目次

どこに支援を求めればよいか	2
ホットライン	3
その他の公的機関	4
親密なパートナーからの暴力とは何か？	6
誰にでも起こりえること	8
LGBTQIなどの関係性における虐待	9
安全対策	10
備えておきましょう	12
IPVの影響を受ける家族	14
介入プログラム	15
薬物とアルコールの使用	16
その他の情報	18
親密なパートナーからの暴力を詳しく知る	20

どこに支援を求めればよいか

あなたやお知り合いの方が今現在危険に晒されている場合は
911に通報してください

ホットラインに電話した方がいいですか？

ホットラインは曜日に関わらず1日24時間利用でき、
原則的に機密が守られます。

- 個人が電話を掛けて誰かに話をし、どのような選択肢が利用できるかについて相談し、また支援サービスを紹介してもらえます。
- 親密なパートナーからの暴力(IPV)を受けている人に手を差し延べるために友人や家族、同僚の方も電話を掛けてアドバイスを求め、支援サービスの紹介を受けることができます。

どのような支援が受けられますか？

すべての機関ですべてのタイプのサービスが受けられるわけでは
ありませんが*、機関によって以下のサービスが受けられます。

- 保護命令や移民問題への支援を含めた法的サービス
- IPVを受けている人とその子供を対象とした一時的な極秘の緊急シェルター
- 必要な場合はシェルターへの移動手段
- カウンセリング
- 医療、金融、チャイルドケア、および雇用サービスへの紹介
- 子供向けのプログラム
- ペットのための一時的なシェルター、またはペットを世話してくれる場所の紹介
- 薬物乱用対策の紹介

*ほとんどのサービスは無料です

ホットライン

Los Angeles County Domestic Violence Hotline

(800) 978-3600

このホットラインは安心できるサポートサービスを無料で提供してくれる機関に繋いでくれます。毎日24時間利用でき、サービス提供団体への連絡は機密扱いされません。



National Domestic Violence Hotline

(800) 799-SAFE (7233)

(800) 787-3224 (TTY)

<https://www.thehotline.org/>

このホットラインはIPVを受けている人の他にもその友人や家族、またパートナーに危害を加えている人(あるいはその危険性を感じている人)が利用できます。このホットラインでは通報者を地域の機関に繋げてくれます。毎日24時間利用でき、内容は秘匿されます。



Love Is Respect (24/7)

(866) 331-9474

(866) 331-8453 (TTY)

<https://www.loveisrespect.org/>またはLOVEIS、22522にCメールを送ってください。(ご利用のワイヤレスプランによりCメールで料金が発生する場合があります)

この機関は、若い人々が虐待的な関係性を防ぐ、また終わらせるために教育し、励ますことを目的としています。このホットラインは毎日24時間利用できます。



その他の公的機関

211 Los Angeles County Information Call Center (24/7)

ダイヤル2-1-1

<https://www.211la.org/>

211 LAはLA郡の保健福祉サービスの情報や紹介の主要なソースとなる機関です。



Los Angeles County Elder Abuse Hotline (24/7)

(877) 477-3646 (877-4-R-SENIORS)

<http://da.lacounty.gov/seniors>

高齢者または成人被扶養者が虐待を受けている、あるいは虐待を受ける差し迫った危険性がある場合は、911に通報してください。その他の場合は、高齢者虐待ホットラインに電話を掛けて高齢者や成人被扶養者の虐待を通報してください。



Bureau of Victims Services, Los Angeles County District Attorney's Office

(800) 380-3811

<http://da.lacounty.gov/victims>

ロサンゼルス郡の犯罪被害者に対し、危機介入、緊急時支援、カウンセリングの紹介、裁判への同行やオリエンテーション、損害回復支援、また訴訟状況の通知を含む必要不可欠なサービスを提供します。



Victim Information and Notification Everyday (VINE)

(877) 411-5588

(866) 847-1298 (TTY)

<https://www.vinelink.com/>

あなたに危害を加えた人や、あなたの知っている人がロサンゼルス郡の刑務所に収監された場合、VINEに登録すれば、その人物が釈放、移送、または刑務所内で異動された場合に通知が届きます。



Safe at Home

(877) 322-5227

(916) 651-1304 (TTY/TDD)

<https://www.sos.ca.gov/registries/safe-home/> IPV



IPVやつきまとい行為、性的暴行および人身売買の被害者が居住地の住所を突き止められないようにするために、代替メールアドレスを提供します。

California Victim Compensation & Government Claims Board

(800) 777-9229

(800) 735-2929 (TTY)

<https://victims.ca.gov>



怪我を負ったり危害を加えると脅されたりした暴力犯罪の被害者に補償を提供します。補償の対象となる犯罪関連の費用には、収入の損失、引っ越し、メンタルヘルスサービス、また体に障害が残った被害者のための住居や車輛の改造費用があげられます。

Los Angeles County District Attorney's Office

(213) 974-3512

<http://da.lacounty.gov/>



家庭内暴力を含む郡内のあらゆる重犯罪と、一部の都市や非法人地域における軽犯罪を起訴します。

Los Angeles City Attorney's Office

(213) 978-8100 (代表番号、支所への通報にも利用できます)

(213) 202-5400 (家庭内暴力担当部署)

<https://www.lacityattorney.org/constitutional-news>



家庭内暴力犯罪を含むロサンゼルス市内のあらゆる軽犯罪を起訴します。

親密なパートナーからの暴力とは何か？

人は親密なパートナーとの関係性においてその相手に力を行行使してコントロールしようとして暴力を振るい、虐待を行います。時として親密なパートナーからの暴力(IPV)と激しい怒りや制御不能な怒りが混同されることがあります。IPVはパートナーに対して力を行行使してコントロールしようと繰り返し行われるサイクルまたはパターンのことを言います。

行動

例

- | | |
|-----------|--|
| 脅しと脅迫 | <ul style="list-style-type: none">・ パートナーや子供、家族、場合によってはペットに危害を加えると脅す・ 体の大きさや強さ、または武器を使用して脅迫する・ パートナーを脅す、あるいは怖がらせる目的で向こう見ずな運転をする・ パートナーや子供を強制送還させるために当局に通報すると脅す |
| 嫌がらせ | <ul style="list-style-type: none">・ 人前で、あるいはソーシャルメディア上でパートナーに嫌がらせをする、あるいはパートナーを脅迫する・ パートナーの動きや行動を監視し、常にチェックする・ 止めるように言われた後も、常に繰り返し連絡をする・ パートナーの友人や家族、仕事先に迷惑な連絡をする |
| 経済的コントロール | <ul style="list-style-type: none">・ 働くことを拒否する、あるいは金融支援を停止する・ 収入や資産の共有を制限する、あるいは拒否する・ パートナーの仕事や教育に介入する、あるいはそれらを妨害する・ パートナーの信用スコアを貶める、あるいは損なう |

暴力行為および虐待行為は様々な形をとることがあります。以下はIPVの様々な形態を表しています。以下に列挙されている全てが犯罪というわけではないものの、あなたやあなたの知人が危害を受ける危険性がある、あるいは危害を加えると脅かされていると感じる場合は、911に通報してください。

行為	例
器物の損壊	<ul style="list-style-type: none"> • 家具や個人の持ち物、車を傷付ける • 壁やドアを殴ったり蹴ったりして穴を開ける • 体が不自由な、あるいは医学的症状を持つパートナーの補装具や薬を使えなくする、あるいは隠す
性的暴力	<ul style="list-style-type: none"> • パートナーが同意していないのにレイプする、あるいは性行為を強要する • 生殖を強要する妊娠のコントロール、強制的な避妊具を使用しない性行為、避妊への干渉
肉体的虐待	<ul style="list-style-type: none"> • 殴る、叩く、押す、突く、もしくは蹴る • 首を締める、窒息させる • パートナーへの過量投薬または減量投薬 • 体が不自由な、あるいは医学的症状を持つパートナーが宿泊設備を使えないようにする
孤立させる	<ul style="list-style-type: none"> • パートナーが友人や親戚に会うのを止める • 友人や家族から遠ざける
言葉による虐待	<ul style="list-style-type: none"> • 常時批判する、また困惑する言葉を放つ • 中傷する、怒鳴る、悪態をつく、罵る • ガスライティングパートナーに自らの正気を疑うよう仕向ける

誰にでも起こりえること

パートナーとの関係性において虐待が発生している場合、それが起きているのは自分だけだと思いかもしれません。実際には、親密なパートナーからの暴力はあらゆるコミュニティで起きており、誰にも起こりえることなのです。それはあなたの性別や人種、民族性、年齢、性的指向、収入、また外見には一切関係ありません。

親密なパートナーからの暴力を経験している全ての方が助けや支援を受ける権利を持っています。

親密なパートナーからの暴力

アメリカ合衆国の場合、3人に1人の男女が人生における親密なパートナーからの接触による性的暴行*、肉体的暴力、また場合によってはストーキングの経験があり、

女性の4人に1人



そして

男性の10人に1人



が親密なパートナーからの暴力の「影響を受けています」

影響の例には、恐怖感、安全への懸念、治療の必要性、法的機関による支援、職業や学業の損失、住居の必要性、また被害者弁護サービス、その他があります。

54%



の
トランスジェンダー

の人々が親密なパートナーからの暴力を経験しています。²



26%

の

ゲイ



44%

の

レズビアン

の人々が人生における親密なパートナーからの肉体的な暴力、レイプ、また場合によってはストーキングを経験しています。¹

*接触による性的暴力にはレイプ、強制的な他人への影響の例には、恐怖感、安全への懸念、治療の必要性、法的機関による支援、職業や学業の損失、住居の必要性、また被害者弁護サービス、その他があります。

LGBTQI+の関係性における虐待



前のページで挙げられたタイプの虐待の他にも、一部のLGBTQI+(レズビアン、ゲイ、バイセクシャル、トランスジェンダー、クィア、クエスチョニング、インターセックス、およびその他のアイデンティティ)との関係性において、虐待的なパートナーが他にも力やコントロール術を行使する場合があります。これには以下のような例があります。

- パートナーの性的指向や性的アイデンティティを家族、従業員や他の人に暴露すると言う、あるいは暴露しろと脅す
- パートナーに対し、その性的アイデンティティや性的指向の故に彼らが虐待を受けるのは当然だと告げる
- 法的執行機関による対応がある場合を含め、虐待が「相互的」、つまり合意に基づくものであると発言する

詳しくは、こちらをお読みください。

<https://www.thehotline.org/is-this-abuse/lgbt-abuse/>



安全対策

あなたがあなたを虐待する人物とともに生活している場合、あなたがその関係性から離れることを希望する、しないに関わらず家庭内暴力相談機関に連絡して安全プランの作成に支援を受けることが大切です。さらに、あなたやあなたの子供を守るのに役立つものを以下にいくつか挙げてみましょう。



友人や家族の電話番号を記憶しておく(または携帯電話に必ず保管しておく)。こうすれば、緊急時に電話を掛けることができます。子供がある程度の年齢の場合は、重要な電話番号を覚えておき、併せて911番に通報するタイミングや方法も覚えておきましょう。



連絡を取り合う。友人と連絡を取り合い、近所の人とも顔見知りになっておきましょう。パートナーが、友人や近所の人びと、また家族などを含め、支援してくれる人とのつながりを制限することで関係性におけるコントロール権を行使しようとする場合があります。人との縁を切らないようにしましょう - たとえそっとしておいて欲しいと感じていたとしても。



自分個人の銀行口座を開く。できればそうするか、緊急時に必要な場合に備えて使えるお金を用意しておきましょう。



SAFETY



この冊子を取っておく。あなたに危害を加える人に見つからない場所で、必要な時には手に取れる場所に置いておきましょう。



合言葉を作る。支援が必要な時に友人や家族に合図を送れるようにしておきましょう。

避難プランを作成する あなたや子供が緊急時に使えるようにしておきましょう。家庭内暴力相談機関に電話で支援を求めましょう。番号は **Los Angeles County Domestic Violence Hotline** (ロサンゼルス郡家庭内暴力ホットライン)、(800) 978-3600です。

備えておきましょう



安全のために、また場合によっては去る決意をされた時に必要となる情報およびアイテムのリストを以下に挙げておきましょう。全ての情報を安全な場所に保管しておいてください。情報や文書のコピーを、パスワードで保護できるUSBメモリスティック(フラッシュドライブ)に保管しておくといよいでしょう。

メモ:家庭内暴力相談機関では、あなたがパートナーとの関係を終わらせるか否かに関わらず、スタッフが安全対策プランの作成を支援しています。支援を要請できる機関の紹介は、本冊子の3ページにリストアップされているホットラインに電話でお問い合わせください。

1. 重要な電話番号:

- 警察: 911 および地域の警察署
- Los Angeles County Domestic Violence Hotline: (800) 978-3600
- 弁護士(知っている場合)

2. 友人や家族の連絡先情報

3. 急いで避難する必要がある場合に行くことができる場所の電話番号および住所

4. 以下のアイテムのコピーを誰か信頼のおける人に保管しておいてもらいましょう(全部揃える必要はありません。手に入るものを集めましょう):

- 運転免許証/ID
- 出生証明書
- ソーシャルセキュリティカード
- 子供の学校の情報
- 健康保険/Medi-Calカード
- 生命保険証券
- 銀行口座情報
- 公的給付ID
(WIC、SNAP、SSI、GR、他)
- 離婚届/保護書類
- パスポート / グリーンカード / 労働許可証 / 査証
- 子供のパスポートまたはグリーンカード
- リース、レンタル合意書、家の譲渡証書
- 車輛登録証 / 保険
- すでに発行されている接近禁止命令の写し

5. これらのアイテムを集めておき、安全な場所に隠すか信頼できる人に預けておきましょう:

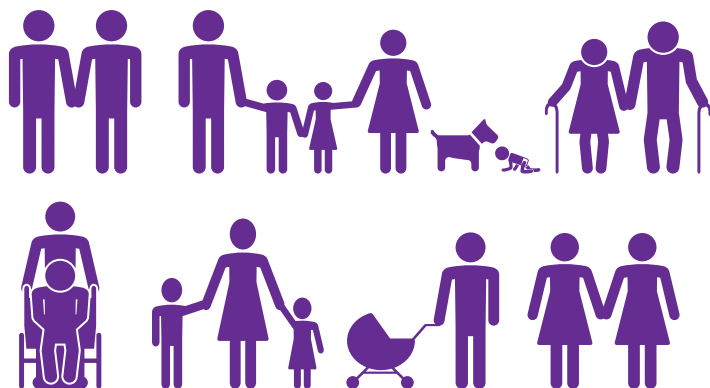
- 車の鍵の予備セット
- 予備のお金と薬
- 自分と子供用の予備の衣服

IPVの影響を受ける家族

親密なパートナーからの暴力はターゲットにされる人物のみならず、子供を含む直接の家族にも危険が及びます。IPVを目撃しているだけでも、子供は長期に渡り、社会的、肉体的、また精神衛生面でもマイナスなリスクを抱えることとなります。IPVに晒された子供の大きなリスクとは以下の通りです。

1. 肉体的な健康問題 – 糖尿病、肥満、心臓病などの慢性疾患
2. 精神的な健康問題 – 不安、鬱、アルコールやドラッグの使用
3. 社会的な問題 – 友人が作りにくい、家族や友人との喧嘩、同僚いじめ、暴力や虐待の経験、また場合によっては自らの親密な関係性において暴力的あるいは虐待的になる、法のおよび犯罪的な問題

あなたがIPVを受けている一方の親である場合、子供を守る方法を知るのが難しい場合があります。3ページにリストアップされているホットラインのどれかに電話を掛けて支援を求めましょう。



介入プログラム



虐待的な人、あるいは自分の親密なパートナーに危害を及ぼすと脅すような人物は、性的アイデンティティ、人種、民族性、年齢、性的指向、収入、また外見とは一切無関係です。

IPVなどの力の行使やコントロールを用いた虐待の形態を含む暴力は学習行動であり(子供の時に経験している場合があります)、非暴力的な対処法やヒーリングに置き換えることができます。パートナーに危害を加えている人、あるいは危害を加える危険性を持つ人が利用できるBatterer's Intervention Programs (加害者介入プログラム: BIP)と呼ばれるプログラムがあります。Los Angeles County Probation DepartmentがBIPを監督しており、郡全体の承認済みプログラムのリストを保持しています。

Probation Departmentは(866) 931-2222に電話を掛けるか<https://probation.lacounty.gov/>にアクセスしてください。パートナーに危害を加えている(あるいはその危険性があると感じている)人は、National Domestic Violence Hotline、(800) 799-SAFEに電話を掛けて支援を求めることができます。パートナーに危害を加えている(あるいはその危険性があると感じている)10代の方は、Love is Respect、(866) 331-9474にお電話ください。



薬物とアルコールの使用

アルコールや薬物の使用とIPVとの交わり方は複雑です。データによると、多くの方がIPVと薬物の使用または乱用を経験しています。³

薬物やアルコールの乱用は薬物使用障害としても知られ、脳の機能に影響を及ぼす医療的狀態であり、有害で自己破壊的な行動を起こさせる場合があります。薬物使用は、しばしばIPVの結果として体験したトラウマや恐れの影響に対処する、あるいはそれらを「感じないようにする」ための方法として使われています。薬物やアルコールは、パートナーに対して力を行使したりコントロールしたりするための虐待的手法の1つとして使われることもあります。以下はこれらの手法の例です。

- 薬物またはアルコールの使用を強要する
- 回復の努力や使用を減らす努力を妨害する
- 治療を受けられないように邪魔をする
- 被害者に対し、強制的に薬物やアルコールを止めさせる
- 被害者の薬物使用について、法執行機関や児童保護機関に開示すると脅す

関係性が暴力と薬物やアルコールの使用の両方の影響を受けている場合は、両方の分野においてサポートを受けることが必要不可欠です。

LOS ANGELES COUNTY DEPARTMENT OF PUBLIC HEALTH, SUBSTANCE ABUSE PREVENTION AND CONTROL

Medi-Cal、My Health LA、その他郡が資金を提供しているプログラムに登録している、あるいはその資格を持つロサンゼルス在住の青年および成人は、費用も料金もかからない薬物使用障害治療および回復サービスを利用できます。

薬物使用障害治療サービスには以下が含まれています。

- 外来治療- 比較的集中度の低いコミュニティベースの治療サービス
- 集中外来治療- 比較的集中度の高いコミュニティベースの治療サービス
- 中毒治療のための薬- 行動療法と併せてFDA承認薬を使用
- 離脱管理- 解毒としても知られる
- 収容療法- 治療サービスが提供される短期居住型施設
- 回復支援サービス- 治療が完了した後に回復を支援するために提供されるサービス
- 回復橋渡し住宅- 治療に連結した一時的な住宅の提供(ソーパーリビングに類似)

詳しくは、Substance Abuse Service Helpline、通話料無料、年中無休24時間対応、(844) 804-7500に電話を掛け

てください。資格を持った担当チームが利用可能なオプションを教えてくれる他、個々のニーズに合ったサービス団体を探すお手伝いをしてくれます。

また、以下のサイトで閲覧できるオンラインリソースディレクトリを使用しても薬物使用障害治療のサービス団体を見つけることができます。

<http://sapccis.ph.lacounty.gov/sbat/>

あなたや、どなたかご心配な方がアルコールや薬物の問題を抱えている場合は、治療には効果があり、回復が可能であることを是非知っておいてください。



その他の情報

以下の情報は案内としてのみの提供となります。これらの権利およびサービスがあなたの状況にどのように、どのタイミングで提供されるか、およびその提供の可否についての判断は、弁護士に相談してください。家庭内暴力相談機関では、法的な支援によりあなたを援助するか、無料または低料金で支援を提供できる人物を紹介することができます。

移民

IPVを受けている正式な滞在資格を持たない人物は、他にも支援を受けることが困難となる問題に直面している可能性があります。また他の形態での虐待にも苦しんでいる場合があります。

正式な滞在資格を持たない場合でも、カルフォルニア州においてIPVを受けている個人は以下のサービスを利用することができます:

- 警察の支援
- 裁判所からの接近禁止命令
- 子供の保護と支援
- シェルターや他のIPVプログラムからのサービス
- 緊急医療
- アメリカ国民の子供は公的給付の受給、また
- 虐待者は刑事訴追を受ける場合があります

IPVに関連のある他の法律

弁護士に相談し、以下のオプションのうち申請可能なものや利用できるものがあるか確認してください。家庭内暴力相談機関では法的支援の提供や法的支援を提供できる人物を紹介することができます。

賃貸契約の特例

カリフォルニア州の住宅法では、賃借人(またはその家族の一員)が家庭内暴力や性的暴行、ストーキング、高齢者虐待、または人身売買を受けた場合に、期限が切れる前でもリースを終了することが認められています。

(Cal.Civ.Code § 1946.7(a)) (特定の書類および要件が適用されます。)

警察の調書の無料コピー

California Family Code 6228 – 州および地方自治体の法執行機関は、要請に従い、かつ料金を課することなく、被害届のあらゆる概況報告書の写し一通、あらゆる被害届けの

写し一通、またはその両方を、被害者またはその代理人(規定に従う)に提供するものとする。

禁止命令とその他の法的オプション

カリフォルニア州には様々なタイプの禁止命令と保護命令があります。一部の種類の命令は警察を通じて取得することができ、一部の種類の命令は上級裁判所にあなたが出向く必要があります。

禁止命令および保護命令は裁判所命令です。これらには禁止された人物に何ができて何ができないかが記載されています。これに含まれるのは、人があなたにどの距離まで近づくことができるか、彼らがあなたや子供に電話を掛ける、あるいは連絡を取ることができるか否か、立ち退き命令、親権および面会命令、所有権またはペットに関する命令、その他いろいろあります。さらに、人に所有する銃器や弾薬の放棄を求める命令や、以後購入できないようにする命令もあります。

弁護士に相談し、上記のオプションのうち申請可能なものや利用できるものがあるか確認してください。家庭内暴力相談機関では法的支援の提供や法的支援を提供できる人物を紹介することができます。

親密なパートナーからの暴力に関して詳しく知るために



California Partnership to End Domestic Violence

(916) 444-7163
www.cpedv.org



National Coalition Against Domestic Violence

(303) 839-1852
www.ncadv.org

出典:

- 1 Smith, S.G., Zhang, X., Basile, K.C., Merrick, M.T., Wang, J., Kresnow, M., Chen, J. (2018). The National Intimate Partner and Sexual Violence Survey (NISVS): 2015 Data Brief – Updated Release. Atlanta, GA: National Center for Injury Prevention and Control, Centers for Disease Control and Prevention.
- 2 James, S. E., Herman, J. L., Rankin, S., Keisling, M., Mottet, L., & Anafi, M. (2016). The Report of the 2015 U.S. Transgender Survey. Washington, DC: National Center for Transgender Equality.
- 3 Rivera, E. A., Phillips, H., Warshaw, C., Lyon, E., Bland, P. J., Kaewken, O. (2015). An applied research paper on the relationship between intimate partner violence and substance use. Chicago, IL: National Center on Domestic Violence, Trauma & Mental Health.

Reaching Out for Safety and Support



手を延ばして

LOS ANGELES COUNTY BOARD OF SUPERVISORS

Hilda L. Solis, First District
Mark Ridley-Thomas, Second District
Sheila Kuehl, Third District
Janice Hahn, Fourth District
Kathryn Barger, Fifth District

LOS ANGELES COUNTY DEPARTMENT OF PUBLIC HEALTH

Barbara Ferrer, PhD, MPH, MEd, Director
Muntu Davis, MD, MPH, Health Officer
Deborah Allen, ScD, Deputy Director for Health Promotion Bureau
Eve Sheedy, Esq, Executive Director, Domestic Violence Council

特別協賛:

- The Los Angeles County Commission for Women
- 親密なパートナーからの暴力で影響を受けた人々を支援する公的機関および民間機関

この冊子のコピーを希望される場合は、以下にご連絡ください。

Los Angeles County Department of Public Health
Domestic Violence Council

(213) 974-2799

dvc@ph.lacounty.gov
<http://publichealth.lacounty.gov/dvcouncil/>

